

## 伊藤賢次教授定年退職記念号によせて

経営学部長 宮 崎 信 二

伊藤賢次教授は、2015年3月末をもって定年を迎えられ、名城大学を退職されることになりました。ここに名城大学および経営学部に対する先生の御貢献に感謝の意を表する次第です。

伊藤先生は、1969年名古屋大学経済学部を卒業後、大学院に進まれましたが、中途退学後、井上護謨工業(株)（現在の(株)イノアック・コーポレーションの前身）に入社され、24年間の勤務の後に、宮崎産業経営大学・岐阜聖徳学園大学を経て、2005年4月より本学経営学部および大学院経営学研究科の教授として着任されました。学部では経営戦略論、国際経営戦略論、起業講座を、大学院では経営戦略研究、海外企業移転研究、実践起業研究を担当されました。学部および大学院では、学生に迎合することなく熱心に、時には厳しく講義や研究指導に取り組みられました。特に、経済学部と共同開講される起業講座においては、各年の経営学部の担当年度では、講座の企画・講師訪問・実施での中心メンバーとして活躍されました。こうした伊藤先生の学部および大学院では教育活動での真摯な取り組みは、先生の旺盛な研究活動に裏打ちされたものです。

伊藤先生は、研究面では、単著6、共・分担執筆11の著書、論文87・学会発表77と精力的に活躍されました。伊藤先生は、24年間にわたる企業での実務経験を経られ（しかも、お忙しい仕事の間に研究・執筆活動も進められ）た退社（1994年）後に、大学教員として研究活動に専念し堰を切ったように多数の論文を発表されました。そして、わずか4年後（1998年3月）に総合研究大学院大学で学術博士（総研大乙第47号）を取得されました。先生の専門領域は、トヨタ生産システムを中心とする日本企業の生産管理から海外展開までと多方面にわたり幅広く研究を進めてこられました。特に、著書『東アジアにおける日本企業の経営—経営のグローバル化と「日本的経営」の移転—』は、日本生産管理学会第3回学会賞を受賞される高い評価を受けられています。また、先生は日本中小企業学会をはじめ組織学会・日本経営学会・日本生産管理学会・国際ビジネス学会など経営学関係の多くの学会活動でも活躍されています。特に、国際ビジネス学会においては中部部会の新設に力を注がれるとともに理事に歴任され、多くの若手研究者の指導にあたってこられました。こうした先生の研究・学会活動への情熱的で真摯な姿勢には、誠に頭の下がる思いです。

ここに先生の名城大学での研究、教育、学会に対するご苦勞とご功績に心から感謝し、定年退職記念号を刊行し、先生に捧げたいと思います。今後は、なにとぞ健康に十分留意されまして、これまで以上にご活躍されることを祈念し、定年退職記念号によせる言葉とさせていただきます。